

「野生生物と社会」学会は、野生生物と社会に関する自然科学、社会科学、人文科学あるいはこの 3 分野を横断する学問的な知見を、学界のみならず広く社会に示すために、学会誌「野生生物と社会」を年 2 回、刊行する。

論文は、野生生物についての研究（すべての対象種や生態系を対象）、および野生生物と社会の関係に関する研究、以上に関する新しいアプローチや概念の提案、野生生物に関する文化研究と社会学、合意形成や政策評価などの分野を主に想定し、既成の学問分野にとらわれない創造的な研究、分野横断的なアプローチによる研究、行政関係者や実践者からの論文を歓迎する。なお、査読者には 3 週間以内での査読を依頼しており、最近の査読期間は概ね 1 ヶ月程度である。

#### 主要なテーマ

- ワイルドライフマネジメント
- エコシステムマネジメント
- 社会-生態システム
- 野生生物に関する文化研究
- 野生生物に関する社会科学
- 合意形成
- 政策形成と評価
- 環境教育
- 観光とレクリエーション

#### 投稿資格：

投稿ならびに筆頭著者は本会会員に限るが、共同執筆者に非会員を含めることができる。ただし、編集委員会が寄稿を依頼した場合はこの限りではない。

#### 査読：

受け付けた原稿は複数の査読者による査読を受ける。その結果に基づき、編集委員会が掲載の可否を決定する。その過程で、論文内容に不備な点がある場合には投稿者に修正を求める。投稿者は原稿を修正したうえで、指定期間内に再送付しなければならない。掲載不適当と判断された原稿は、その理由を明記して編集委員長が投稿者に返却する。その場合、投稿者は 1 回に限り、再査読を求めることができる。

#### 受理：

受け付けた原稿は、編集委員長が掲載可と判断した日をもって、受理日とする。

#### 使用言語：

使用言語は日本語または英語とし、要約はそれぞれ英語または日本語とする。本文および要約が英語の場合には、必要であれば編集委員会で日本語の要約を作成することもある。

#### 論文のカテゴリー：

論文には、原著論文、総説論文、短報、報告のカテゴリーをおく。

#### 論文の長さ：

論文の長さには原則として制限はないが、極端に長い場合には編集委員会と著者との協議のうえ、分載または特別号とする場合もある。

#### 原稿の送付：

原稿は電子投稿、印刷体の投稿のどちらでも可とする。電子投稿の場合は、3MB以下で word ファイル及び pdf ファイルを作成し、電子メールに添付して学会事務局\*宛に送信する。郵送の場合は、本文、図、表とも1部を印字し、学会事務局\*宛に送付する。

#### 原稿の書き方：

別紙「[原稿の書き方](#)」、英語の場合には、[Instruction for contributors in English](#) を参照のこと。

#### 校正：

著者校正は初校のみとし、再校以降は編集事務局が行う。

#### 著作権：

著作権は「野生生物と社会」学会に所属する。図表の転載には、学会の許可を必要とする。

#### 規定の改正：

この規定の改正は、編集委員会の審議を経て、理事会の承認を得て行われる。

\*「野生生物と社会」学会事務局（投稿送付先）

〒100-0003 東京都千代田区一ツ橋 1-1-1

パレスサイドビル 9F (株)毎日学術フォーラム内

TEL : 03-6267-4550 FAX : 03-6267-4555

e-mail : [awhs@mynavi.jp](mailto:awhs@mynavi.jp)

\* 投稿にあたっては、「投稿原稿送付状」と「投稿者用チェックシート」を添付または同封して下さい。

## 「原稿の書き方」

### 書式：

原稿は縦長 A4 判用紙横書きとし、原則として Word などのソフトウェアを用いて作成する。1 行 25 字、1 ページ 30 行とし、上下に約 3cm、左右に約 4cm の余白をとる。フォントは MS 明朝体とし、英数字は Times New Roman とする。

原稿は 1 ページ目に、表題、筆頭著者名（・第 2 著者名・…）、著者所属、所在地、連絡先 E メールアドレスを書く。

2 ページ目に英文で、Title、First Author (, Second Autor, ...)、Institution、Address、Email Address を書く。

所属変更の場合には、1 ページ目（和文）と 2 ページ目（英文）の著者名の右肩にアスタリスクをつけ、現所属を脚注として、それぞれ 1 ページ目と 2 ページ目の下段に配置する。

例：野生太郎<sup>1\*</sup>

1 野生大学

\*現所属 野生研究所

3 ページ目に、英文要約 (Abstract) と英文でキーワード (5 つ以内、アルファベット順) を書く。要約のなかには、略号や頭文字語 (Acronym) を用いないこと。

4 ページ目以降から本文、注、引用文献、表、図の説明、図の順に配列する。

謝辞があれば、本文の末尾に書く。助成金などを明記したい場合には、謝辞のなかに含める。

原稿には、各ページ下部中央に第 1 ページから最終ページまで連続したページ番号をつける。また、原稿の左側に 5 行毎に第 1 ページから連続した行番号を入れる。

### 区分け：

材料・方法・調査地、結果、考察などを区分けする小見出しは、上下の 1 行を空けて、下に波線をつけて中央に配置する。さらに細分する小見出しは上の 1 行を空けて、同様に波線をつけて左寄せとする。

### 注：

本文への注は、本文該当箇所の右肩に通し番号を (1)、(2)、(3) のように記し、本文と引用文献の間に一括して掲載する。

### 学名：

動植物名は初出の際に、和名に続けて括弧内に学名をつける。学名は下線を引く。民俗学・民族学などの分野で地方名 (vernacular name) や特殊な生物名を表記する場合にはこの限りではないが、なるべく学名に比定できるようにするのが望ましい。

#### イタリック：

本文中では、原則として学名以外はイタリック体を用いない。SD、SE、p、n（サンプル数）などもイタリックとしない。

#### 人名：

アルファベット表記の人名は第1文字のみを大文字とし、ロシア語、タイ語などの人名は、標準的な方式にしたがってアルファベット表記にする。中国語の簡体字表記などは日本で用いられている漢字を用いる。

#### 文献の引用：

本文中の引用は「鈴木・田中（1971）によれば・・・」、「・・・明らかにした（足立ほか1980）」、「・・・研究がある（Hoffman and Taber 1960, Geist 1970, Gray et al. 1975）」などとし、出版年の順にする。同一著者の引用を並べる場合も著者名を省略しない。著者名が3名以上の場合は和文では「ほか」、英文では「et al.」と省略する。

印刷中の文献の引用は和文の場合は（印刷中）、英文の場合は（in press）として記載し、投稿中のものは引用しない。

#### 文献一覧：

著者と発行年の両方が明らかなものを引用文献に記載する。それ以外のものは注に記載する。

本文中で引用した文献はすべて列記し、引用していない文献は載せない。文献一覧は著者名のアルファベット順に配列し、著者が同じ場合には、単独の著者名を発表年の古い順にはじめに置き、第2、第3の著者名のアルファベット順であとに続ける。

すべて同一著者で同一年の場合は、本文中の引用順に、発表年のあとに a、b、c をつけて区別する。著者が複数の場合、日本語表記の場合は「・」でつなぎ、アルファベット表記の場合は「,」「and」でつなぐ。文献の配列は、以下の例にしたがう。

例：沼田 眞（1982a）

沼田 眞（1982b）【同一著者の場合、一などで省略しない】

沼田 眞・大沢雅彦（1980）【発表年は上記論文より古いですが、共著者がいるので後に配列する】

沼田 眞・依田恭二（1975）【発表年は上記論文より古いですが、第2著者のアルファベット順により後に配列する】

田中政則・高橋誠一・大塚敬子（1986）

王 祖望（Wang, Z.）・盛 和林（Sheng, H.）【中国語表記の場合、名前の直後にアルファベットの綴りをつけ、その順に配列する】

文献は形式から（1）学会誌、（2）単行本、（3）単行本及び論集のなかの章、の引用に分けられる。欧文・和文を問わず、雑誌名は省略しない。また Ibid などの省略もしない。単行本で特定の箇所を引用す

る場合には、「単行本及び論集のなかの章」と同様にページ数を明記する。欧文雑誌名と欧文単行本書名は下線を引く。文献一覧は以下の例にしたがう。

(1) 学会誌

著者名 (発行年) 表題. 雑誌名 巻 (号) : ページ.

Authors (year) title. Journal title volume (issue): pages.

藤本征司 (1993) 1977 年有珠山噴火後の森林植生 14 年間の推移—特に高木類の対応パターン.

日本生態学会誌 43(1) : 1-11.

Ohsawa, M., D. Suzuki and J. Kawano (1990) An interpretation of latitudinal patterns of

forest limits in South and East Asian mountains. Journal of Ecology 78(2): 326-339.

(2) 単行本

著者名 (発行年) 「著書名」. 掲載ページ数, 発行所, 発行所所在地.

Authors (year) "book title". cited pages, publisher, place of publication.

畠山武道 (1992) 「アメリカの環境保護法」. pp6-8, 北海道大学図書刊行会, 札幌.

Leopold, A. (1933) "Game Management". Charles Scribner's Sons, New York.

(3) 単行本及び論集のなかの章

著者名 (発行年) 表題. 「著書名」 (編集者名), 掲載ページ数, 発行所, 発行所所在地.

Authors (year) Chapter title. In "Book title" (Editors), chapter pages, publisher, place of publication.

樋口広芳 (1984) 種分化と資源分割. 「現代の鳥類学」 (森岡弘之・中村登流・樋口広芳, 編), pp216-236, 朝倉書店, 東京.

Gray, A. J. (1991) Management of coastal communities. In "The Scientific Management of Temperate Communities for Conservation" (Eds. Spellerberg, I. F., F. B. Goldsmith and M. G. Morris), pp227-243, Blackwell Scientific Publications, Oxford.

(4) ウェブ情報

著者と発行年の両方が明らかなものを引用文献に記載する。それ以外のものは注に記載する。

著者名 (発行年) 「記事タイトル」 (URL) xxxx 年 xx 月 xx 日確認.

Authors (year) "title of web page". (URL) Accessed by yyyy-mm-dd.

農林水産省大臣官房統計部 (2017) 「平成 29 年度産麦類 (子実用) の作付面積 (全国) 及び収穫量 (都府県)」 ([http://www.maff.go.jp/j/tokei/kouhyou/sakumotu/sakkyo\\_kome/attach/pdf/index-33.pdf](http://www.maff.go.jp/j/tokei/kouhyou/sakumotu/sakkyo_kome/attach/pdf/index-33.pdf)) 2017 年 11 月 6 日確認.

Alaska department of fish and game (2017) "2017 commercial salmon harvest summary". (<http://www.adfg.alaska.gov/index.cfm?adfg=pressrelease.pr10032017>) Accessed by 2017-11-06.

図：

図（写真を含む）は1点1枚とする。図は鮮明なもので、そのまま版下として使えるように、執筆者の責任で別紙に作成する（図表用の版下作成の必要が生じた場合には、執筆者が実費を負担する）。

既往の資料から作図した場合や既発表の図を転載する場合には、関係機関から許可を得たうえで、その旨を明示する（例：Harper（1975）より作図、川村（1982）より、など）。

図の別紙にはそれぞれ右上端に著者名と図の番号を示す。1点のみでも図1. とする。なおカラー図版にかかわる経費はすべて著者負担とする。図の表題は本文を読まなくても意味がわかるものとし、別紙にまとめて記載する。

表：

表は1点1枚とし、表題もあわせて記載する。表題は本文を読まなくても意味がわかるものとする。表は横線のみとする。1点のみでも表1. とする。なお、表が横に長い場合、印刷の向きを横にすることがある。

単位：

単位はメートル法とする。民俗学・民族学などの分野で尺貫法など、それ以外の表現を必要とする場合にはこの限りではないが、メートル法に比定できるようにするのが望ましい。